

岐阜大学医学市民講座

脂質異常症

【主催・企画】
岐阜大学大学院
医学系研究科
【後援】
岐阜県・岐阜県教育委員会
岐阜市・岐阜市教育委員会

参加費 **無料**
定員 **先着**150名
対象 **一般社会人**

平成27年
9月27日(日)
13:30~16:30

岐阜大学医学部記念会館
2階ホール



毎年ご好評をいただいています岐阜大学医学市民講座の今年のテーマは「脂質異常症」です。脂質異常症というのは、悪い脂質が増えすぎたり、良い脂質が減りすぎたりする病気のことです。これらのことが起きても、自分では全く気がつかないため、そのまま放置してしまい、増えた脂質がどんどん血管の内側にたまって動脈硬化になってしまい、ついには心筋梗塞や脳梗塞の発作を起こします。また、脂質異常症では、食生活を含む生活習慣に関連した原因が重なって発症するため、日常的な心がけが極めて重要となります。

今回の市民講座では、総合内科の専門家として岐阜大学医学部附属病院で活躍中の4名の講師が4つのテーマ、「脂質異常症とは」、「動脈硬化症」、「脂質異常症とメタボリックシンドローム」、「脂質異常症の治療」をわかりやすく解説します。

時間の許す限り皆様の疑問・質問にお答えします。脂質異常症およびその関連疾患について、予防あるいは対処の仕方に理解を深めていただけましたら誠に幸いです。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

申込方法

①Eメール

下記ホームページより受講申込書をダウンロードし、必要事項を入力したものを添付の上、下記メールアドレスへ件名に『市民講座申込み』と明記のうえ、送信してください。

②郵送またはFAX

下記ホームページより受講申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記の申込み・問合せ先まで送付してください。なお、受講申込書の入手が困難な方は、①氏名(ふりがな) ②住所 ③性別 ④電話番号 ⑤過去の受講歴 ⑥年齢 ⑦職業 ⑧修了証書発行希望の有無を記入したものを送付してください。

※郵送の際には、返信用封筒(長型3号・82円切手貼付)を同封願います。

申込期間 : 8月3日(月)から9月16日(水)

申込み
問合せ

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係
【TEL】058(230)6054(直通) 【FAX】058(230)6060
【Eメール】igakubu-27smn@gifu-u.ac.jp
【ホームページ】<http://www.med.gifu-u.ac.jp/shimin>
＜電話受付時間＞ 9:00~16:00(土・日・祝日・8/12・13・14を除く)



<講師・講義内容>

○13:30～ 開講

○13:35～14:05

【脂質異常症とは】

医学部附属病院
総合内科

臨床講師 池田 貴英
(いけだ たかひで)



脂質は、炭水化物、タンパク質と並び、体内でのエネルギー源となる大切な栄養素で、体の中で細胞膜やホルモンなどを作るのに欠かせない成分です。通常、脂質は、食事から取り込まれるほか、肝臓で作られるものがあり、血液中に一定の量が保たれるように調節されています。脂質異常症はこのバランスが崩れ、血液中のLDLコレステロール(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセリド)などが異常に多くなる、またはHDLコレステロール(善玉コレステロール)が少なくなる病気です。

今回は、脂質は体でどんな働きをしている？脂質異常症の原因は？検査値をどうみればよいか？などについてわかりやすくお話します。

○14:05～14:35

【動脈硬化症】

医学部附属病院
総合内科

臨床講師 臼井 太郎
(うすい たろう)



わたしたちが生きていく上で必要な栄養である脂質は、一定量よりも増えてしまうと、私たちの体の血管は、動脈硬化を起こします。つまり、血中の有り余った中性脂肪、LDLコレステロールが動脈壁に入り込み、動脈の内腔が狭まり、弾力を失ってしまうのです。心臓の血管が詰まって起こる心筋梗塞も動脈硬化が影響していますし、脳梗塞や脳出血も、脳の中の血管が動脈硬化を起こすことが原因です。したがって、過剰な脂質を下げることは、動脈硬化を防ぐこと、心筋梗塞や脳梗塞などの危険な病気を防ぐ目的があり、腎機能の悪化を防ぐ意味合いもあります。

今回は動脈硬化のメカニズム、起こりうる病気についてお話したいと思います。

○14:35～14:50 休憩

○14:50～15:20

【脂質異常症と

メタボリックシンドローム】

医学部附属病院
総合内科

副科長 **梶田 和男**
(かじた かずお)



解っているようで、実はあまり解っていない肥満、メタボ、中性脂肪、コレステロールの話—

健康診断で体重だけ注意されたけれど、本当に痩せなくてはいけないの？メタボと言われたけれど、昔はそんなものなかった。新しい病気ができたの？私はそんなに食べていないのだけど、いつも体重が多いと言われる。太りやすい体質ってあるのでないですか？家の隣のAさんはとても太っているけれど、血圧、コレステロール、中性脂肪、血糖すべて異常なしと言われているそうです。家の向かいのCさんは同じくらい太っていて、先日心臓病で入院したけれど、なぜそんな違いがでるのかしら。私の同僚のDさんはいつも運動不足で不摂生をしているので、コレステロール、中性脂肪、血糖値が高いと言われている。私はきちんと節制しているし、運動も毎日続けているのに同じように異常値が出ている。おかしくないか？というよりこれ以上どうがんばればいいのか？

—こんな疑問にお答えします。

○15:20～15:50

【脂質異常症の治療】

医学部附属病院
総合内科

臨床講師 **山内 雅裕**
(やまうち まさひろ)



脂質異常症の治療の基本は、食事療法や運動療法といった生活習慣の改善がとても重要です。その主な内容は①禁煙、②食生活の是正、③適正体重への減量、④運動の増加です。これらの生活習慣の改善でも脂質異常が目標値まで改善しない場合、またどうしても生活習慣が改善できない場合は動脈硬化が進み、脳梗塞や心筋梗塞へと進む危険性が高くなってしまいます。このような場合はこれらの治療に加えて薬物療法も行うこととなります。

今回の講演では、具体的にどのように食事療法や運動療法を行えばよいか、また治療薬としてどのような治療薬があるかを中心に分かり易く解説させていただきます。

○15:50~15:55 休憩

○15:55~16:20 質疑応答・総合討議

○16:20~ 閉講